



息ぴったりの演奏を見せたひまわり組(年長)の園児たち

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係(☎・内線1202)

遊戯や劇で会場にぎやか

ひなぎく幼稚園創立40周年記念式典・発表会

学校法人西根学園ひなぎく幼稚園創立40周年記念式典・発表会は12月15日、姫神ホールで開かれ、40周年の節目を祝いました。

式典では、高橋義法園長が「今後も琴の演奏やサッカー教室などユニークな教育を続けていきたい」と決意を新たにしていました。発表会では、在学園児による元気いっぱいの遊戯や劇などのほか、卒園した児童・生徒による日本舞踊やヒップホップダンスも披露され、両親らは子どもの成長に目を細めていました。



かわいらしい姿で踊るすずらん・ちゅうりっぷ組(年少)



会話を楽しみながら干支くるみ絵を制作する参加者

制作しながら会話も弾む

えと干支くるみ絵作り

干支くるみ絵作りは12月6日、平館コミュニティセンターで開かれ、今年の干支である「亥(い)」をかたどったくるみ絵を制作しました。

参加者は、スポンジを和紙でくるんで厚みを出し、部分ごとに細かく切り抜いた和紙をボンドで貼り付けて、彩り豊かに仕上げていました。

参加した松浦ミヨシさん＝堀切＝は「今回で十二支全てのくるみ絵がそろったので満足です。玄関に飾るのが楽しみ」と笑顔を浮かべていました。



手話講座に参加した受講生は自分の名前や干支などを手話で表現しました(12月8日、市役所)



カーリング体験を楽しむ山後育成会の子どもたち(12月22日、みちのくコカ・コーラボトリングリンク)



平館青商会と平館高生徒で飾り付けたイルミネーションを点灯(12月19日、平館コミュニティセンター前)



佐々木氏の講義に自主防災の重要性を再認識する参加者

防災から減災へ意識改革

寺田地域自主防災会防災研修

寺田地域防災会は12月2日、寺田コミュニティセンターで、佐々木重光岩泉町危機管理監(28年台風10号豪雨発生時、岩泉消防署長)を講師に迎え、各地区防災会や消防団員ら31人が災害対応について学びました。佐々木氏は、台風のメカニズムに触れ、台風10号が105年前と同様の台風だったことや予測不能な台風が増加していると説明。また「自然災害を防ぐことはできないが、減災はできる。災害の記憶を伝え続け、ご近所同士で助け合う精神が重要」と呼び掛けました。

英語で楽しむクリスマス

市国際交流協会クリスマス会

市国際交流協会は12月8日、外国の文化や遊びに触れる活動の一環として、市役所多目的ホール棟で一足早いクリスマス会を開きました。親子ら約40人が参加。ジェイソン・ヒル夫妻を先生に迎え、英語でクリスマスソングを歌ったり、外国のクリスマスの伝統をクイズ形式で学んだりと楽しいひとときを過ごしました。最後には、サンタクロースから子どもたち一人一人にプレゼントが渡され、皆一様に笑顔を浮かべていました。



クッキーハウスをチョコや生クリームで飾り付け

イベントきっかけで結婚

成婚祝金贈呈式

成婚祝金贈呈式は11月29日、市役所で行われ「第20回はちまんたいHAPPYカップリング」を通じ成婚された武田正樹さん、秀美さん夫妻に祝金50万円のうち、1回目の20万円が市共通商品券で贈られました。同イベントを通じての成婚は、武田さん夫妻で9組目。秀美さんへ参加を迷っている人へのアドバイスを求めると「気軽な感じで参加してみてもいいのでは」と自身の経験を振り返りました。次回同イベントの開催は、2月17日(日)です【詳細は9頁】。



「笑いの絶えない家庭をつくりたい」と言う武田夫妻



写真提供 松尾中

キャッチボールの正確さとスピードを競いました

基本の大切さを再認識

キャッチボールの全国大会に松尾中が出場

9人1チームが7元の距離で向かい合い、キャッチボールを2分間で何回できたかを競う「キャッチボールクラシック2018全国大会」が12月9日、石川県小松市で開かれ、県代表として松尾中野球部が出場しました。初戦を214回(2回合計)で突破したものの続く2回戦は110回(1回)で敗退。盛内柊吾主将は「納得いく記録ではなかったが、全国大会の緊張感を感じられ貴重な経験ができた。この経験を試合に生かし、来シーズンは地区大会優勝を目指したい」と意欲を高めました。

来場者に市の魅力を紹介

スキー場内にふるさと納税のPRブース開設

本市のふるさと納税返礼品発送業務を担う(一社)ドリームプロジェクト(関欣哉代表理事)は12月7日、同返礼品のPRブースを安比高原スキー場安比ハッピーモール内に開設しました。同スキー場の昨シーズンの来場者数は約34万人。常設の同ブースでは、パンフレットの提供や障がい者による梱包作業などの活動写真のパネル展示を通じ、来場者に市ふるさと納税の取り組み状況を紹介し、開設は同スキー場シーズン終了まで。



PRブースで松尾清常さんがくるみ籠製作を実演

チーム一丸で挑んだ全国

全国中学校駅伝大会に西根中が出場

第26回全国中学校駅伝大会は12月16日、滋賀県野洲市の希望が丘文化公園で開かれ、県男子代表として西根中が出場しました。記録は1時間0分59秒(6区間18区間)。48校(開催県は2校)中45位で、全国のレベルの高さを実感させられました。里館陸主将は「全国まで来られたのは指導、支援してくれた先生、応援してくれた生徒や地域のおかげ」と感謝し、後輩には「来年は厳しい練習を積んで、今年より良い結果を残してほしい」とエールを送りました。



写真提供 西根中

励まし合いタスキをつないだ西根中の選手、監督ら

すなっぷギャラリー



12月20日で100歳を迎えられた伊藤モヨさん＝山崎＝これからも元気で(12月20日、ホスピール)



第58回郷土民謡民舞全国大会シニア編1部優勝で農林水産大臣賞受賞の伊藤富子さん(12月12日、市役所)



人権擁護委員を退任された伊藤重伸さん(中央)に法務大臣からの感謝状を伝達(12月7日、市役所)



1月27、28日に開かれる東日本バイアスロン選手権大会の支援協定を締結(12月4日、岩手駐屯地)



市内23団体の代表者が1年間を振り返って成果や課題を発表(12月9日、市スポーツ少年団活動発表会)